

## V 雲の平からアルプスの山々を眺める

- 日程：8月20日(木)～24(月)
- 参加者：L瀬尾 SL和田 塩津 中村 三木(悦) 村上
- 行動記録：

- 21日(金)：富山駅5:25発タクシー折立登山口(6:50着)7:10発～三角点(8:50着)9:00発～五光岩ベンチ(10:35着)～太郎平小屋(11:30着・昼食)12:00発～薬師沢小屋(15:00着)
- 22日(土)：薬師沢小屋5:20発～アラスカ庭園(8:10着)～奥日本庭園(8:45着)～雲の平山荘(9:07着)10:00発～スイス庭園(10:10着)～祖父庭園(10:25着)～徒渉点(13:30着)～三俣山荘(14:45着)
- 23日(日)：三俣山荘5:10～三俣蓮華岳6:27～双六岳8:15～双六小屋(9:30着)9:50発～鏡平山荘(12:10着)12:25発～わさび平小屋15:30～新穂高温泉(16:30着)

### ◆◆太郎兵衛平から薬師沢小屋へ

### 村上

富山のホテルからジャンボタクシーで向かった折立の登山口は小雨。スタートから雨具着用です。太郎平小屋(2338m)まで約1000mのひたすら登りです。三角点までは樹林帯の急登ですが、高山のお花が見え出すと雲間に有峰湖が望めます。五光岩ベンチを過ぎ、めざす太郎平小屋が見え、もうひとふんばり。なだらかな木道や石の道が続きます。雨は降ったりやんだりですが、お昼は太郎平小屋の屋根のある軒下ベンチで小屋の暖かいお味噌汁をいただきほっと一息。



小屋ではリーダーが第三徒渉点までの登山可能性を確認。小屋からは進むべき沢へのなだらかな登山道が見えます。

出発してみるとなだらかな木道の先は薬師沢への急な斜面を下り、第二徒渉点を渡るころは木道の左右にトリカブトやハクサンフウロなどお花がいっぱいで、足元が悪い中でも幸福な気分でした。沢沿いに進むと薬師沢と黒部川上流の合流点に小屋の赤い屋根が見えました。

薬師沢小屋は左右からの沢の水音がすさまじく、部屋への階段上り口では左右に手すりとロープが付いていて、“最後の急登”の張り紙がありました。

### ◆◆黒部川源流域は、天空のお花畑

### 中村

いよいよ、「長年来、あこがれの雲ノ平へ」だが…今日も、合羽を着て出発する。

雲ノ平は、「北アルプスのヘソ」と言われている。ヘソは、真ん中にくぼんでいて、周りは脂肪で盛り上がっている。地図上では、層々たる百名山もしくは二百名山が、祖父岳の噴火によってできた溶岩台地の雲ノ平をとり囲んでいる。ハイマツや溶岩を埋め尽くすように広がるお花たちは、美しかったけれど背景になる雄大な山容が霧に包まれてしまっていて、誠に残念。スイス庭園は、「アルプスの少女ハイジ」に出てくるような山の斜面はよかったが、正面に見えるであろうマッターホルン?の山々は、想像するしかなかった。



後ろ髪をひかれる思いで、徒渉点に向かう途中、脇のハイマツからライチョウの姉妹？3羽が木道に現れ、つかの間だが、3羽に先導されての木道歩きを楽しめたのは、何より印象に残った。

祖父岳の急な斜面を下り、黒部川源流の徒渉点に着くが、そこはまさに谷底。見あげると、滝のように水しぶきをあげた沢が、あちこちにあり圧巻。

徒渉点はロープが張ってあるが、昨日からの雨で増水。初体験のシュリング使用になった。三俣山荘への急峻な登山道は、やはり、黒部川に注ぐ沢歩きのごとき、きつかった。

三俣山荘に着くと、雨も上がり、正面には槍の穂先がチラホラ。明日の晴天が予想され、気持ち明るくなった。山歩きは、晴天にこしたことはないが今回、合羽を着てもしっかりと歩けたことは、よかったと思う。

## ◆◆新穂高温泉へ

## 塩津

昨日は待望の槍ヶ岳がやっと望め、今日は晴天との事で皆気分上々で出発する。途中雨で登れなかった鷲羽岳の横から昇って来た太陽を拝み、三俣蓮華岳へ……。頂上は残念ながら霧の中で何も見えず早々に稜線コースを双六岳へ向かう。途中霧が晴れてルンルンのハイキング気分の稜線歩きだったが、双六岳に着くと又もや霧の中……。足取りも重くなる……。

双六小屋でゆっくりコーヒータイムをとり、気を取り直してゴロゴロ道を最後の望みの槍、穂高のビューポイント、鏡平山荘へ。辿り着いた小屋でかき氷（おいしかった～！）を食べて少し足取りも軽くなったが、展望栈敷のある鏡池からの素晴らしいであろう山々の姿も霧にかき消され何も見えず、再々度がっかり！しかし下山途中のシシウドが原、イタドリが原周辺のお花畑は、素晴らしく、落ち込んだ気持ちを癒してくれました。！

後はひたすら沢沿いの道、林道をわさび平小屋経て新穂高温泉へ……。不安を抱えながらのロングコースを無事歩くことが出来て本当に良かったです。皆様お疲れ様でした。そして有難うございました！！

## ■六甲山 風吹岩～七兵衛山



- 日 程：9月5日(土)
- 参 加 者：L三木(悦) SL瀧原 阿江 大谷 岡本 小山 坂田(敬) 田中(美) 苦瓜 平井(み) 平石 村上 森下 矢根 山本(清)
- 行 動 記 録：阪急芦屋川駅9:10 発～会下山遺跡(9:38 着)9:48 発～蛙岩(10:13 着) 10:17 発～風吹岩(10:50 着)11:00 発～万物相(11:10・昼食着)12:00 発～横池(12:15 着)12:18 発～七兵衛山(12:55 着)13:20 発～山の神(14:00 着) 14:05 発～岡本八幡神社(14:30 着・ストレッチ)14:35 発～阪急岡本駅(14:45 着)

## ◆◆六甲・七兵衛山

## 岡本

このところ雨続きでしたが、今日は運よく雨があがってくれました。ひさしぶりの山行で心も雨上がり気分。うきうきスタートです。芦屋川駅をでて広場で軽く体操をすまししばらく市街地を歩き、会下山遺跡に到着。弥生時代中期から後期の高地性集落跡である。復元された住居などもあり歴史を感じます。いい感じに木がおいしげって、木陰に吹く風もすがすがしく、ずーっとここにいたいなとも思いました。でも予定がありますので先に進みます。風吹岩で小休止。そこから10分ほど歩いて、今日一番の楽しみにしていた場所、万物相（ピラーロック）に到着しました。

そこは自然のおりなす造形美。ボロボロに風化した岩塔が複雑に立ち並び異様な景観、この日本離れした景観に感動しかありません。三木Lの話では、半年前とは随分様子がかわってきているとのこと。

風化がそれほどまで早いとはまたまた驚きである。

昼食を頂き、景色も満喫したところで、出発です。

横池をとおり、七兵衛山に到着。景色を眺めながら休憩できるようにすわる場所もあり、そこでオジサマ2人が愛妻弁当をひろげビールで一杯やっていた。家にいれば邪魔者扱いされるのかここはいい避難場所？のようだ。私たちも、そこで小休止させてもらいました。休憩中いろいろお話をさせていただいていると、強靱な体力の持ち主のOさんは日ごろ畑仕事等をこなされていて、やはり、日常の取り組み方、過ごし方が違うことを知りました。ただ、うらやましがっているのは、だめだなと肝に銘じた次第であります。

七兵衛山を出発し帰路につきました。途中の神社で体操を行い阪急岡本駅到着です。今日のコースは本当最後まで木蔭が多く、非常に歩きやすかったです。皆さんと楽しく歩かせて頂き、六甲山の奥深さを知った思い出になるよい山行でした。リーダーをはじめ皆様方ありがとうございました。

